

事業の基礎情報

実施主体	函館タクシー株式会社
事業実施地域	函館市、厚沢部町、江差町、上ノ国町
共創の類型	官民共創
他分野共創の類型	
共創パートナー	厚沢部町、江差町、上ノ国町、檜山振興局、北海道エアポート(株)
運行形態	乗合タクシー
運行主体	函館タクシー(株)

取組の概要

(現状の地域課題と事業目的)

檜山エリアの3町（江差町・上ノ国町・厚沢部町）と函館空港への公共交通を利用したアクセスは、バスの乗換が必要であり、3時間強と非常に時間がかかっている。そのため夏期に同地域で行われる文化・歴史的なイベントの担い手や参加者、観光客にとって移動は大きな負担となっている。こうしたことから、夏期のイベントの開催時期において函館空港から3町へダイレクトにアクセスする乗合タクシー「かもめ号（仮称）」を実証運行し、移動時間の短縮を図り、イベント参加者や観光客の公共交通需要並びに一般需要の開拓及び利用促進を図る。また、年末年始の帰省客用にも運行を行い、リピーター利用状況等について把握する。

(事業の概要)

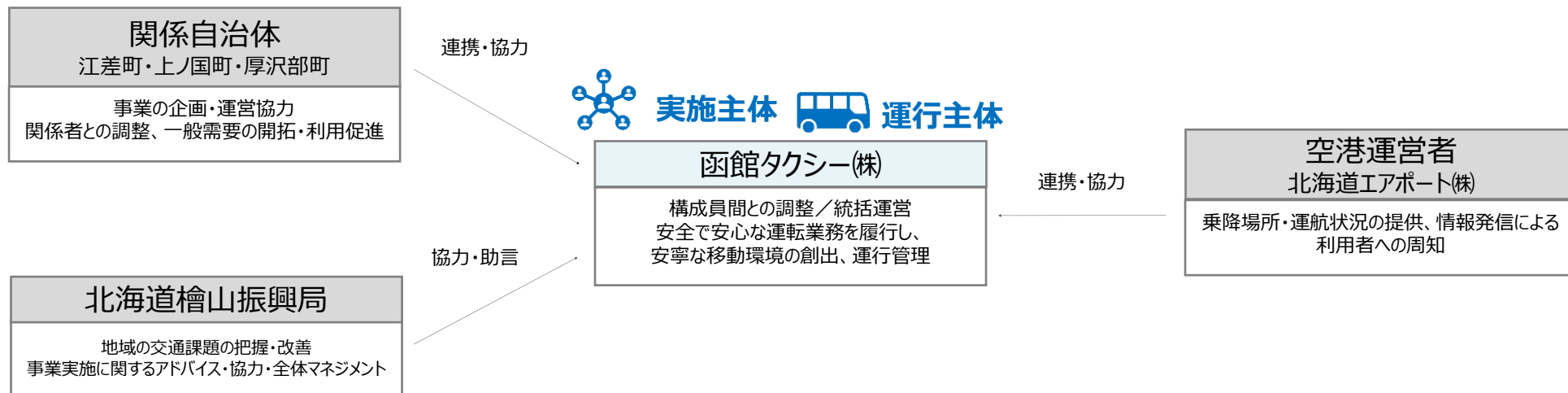
- ・函館空港から、乗換えなしで各町を経由し運行する事前予約型の乗合タクシーを運行し、これまで3時間強かかっていた同エリアへの移動時間を1時間強短縮する。
- ・北海道外から来訪するイベントの担い手や参加者、観光客の移動負担の軽減を図り、地域に根差した歴史あるイベントの持続可能性を高める。
- ・アクセス改善によって来訪者や地域住民の移動需要や消費行動の変化を検証し、持続可能な交通手段の構築を目指す。

伝統文化のまちづくり共創型空港アクセス改善プロジェクト

応募様式A

函館空港アクセス改善プラットフォーム

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

複数の自治体、空港及び交通事業者が連携・協働することにより、利便性が高く効率的な運行を企画・実施することが可能。移動時間を短縮することで、地域での滞在時間が延び、消費拡大を期待。

(実証事業により見込まれる効果)

町外に流出しているイベントの担い手が帰省の際に乗合タクシーを利用することで家族の負担軽減を図る。空港へ直接アクセスする交通手段を用意することで、地域住民の一般需要の開拓及び利用を促進。イベント期間中には駐車場や道路が混雑しレンタカーでの訪問が困難となる。本事業は混雑解消の一助となる。移動時間が片道1時間強短縮されることから、地域イベントの担い手、参加者及び観光客の移動の負担が軽減でき、イベントへの参加が容易になり文化伝統の持続性が高まる。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

主体	項目	令和6年										令和7年		
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
函館タクシー	運行準備													
函館タクシー	交付申請													
函館タクシー	運送法許可申請													
函館タクシー	停留所整備													
自治体・北海道エアポート	広報													
函館タクシー	運行													
全員	振り返り													
全員	実績報告													

(補助事業実施後の予定)

- ・【ビジネスモデルのブラッシュアップ】実証実験の結果を分析し、（需要・価格・ルート）最適且つ効率性を向上させる
- ・【パートナーシップの構築拡大】自治体、地域の企業団体などのパートナーシップの構築拡大を図り、サービスの持続可能な体制を検討
- ・【利用者とのコミュニケーションの強化】実証運行に乗車したユーザーに、次年度以降の運行情報や改善ポイントなどをお知らせし、継続的な利用を促す。